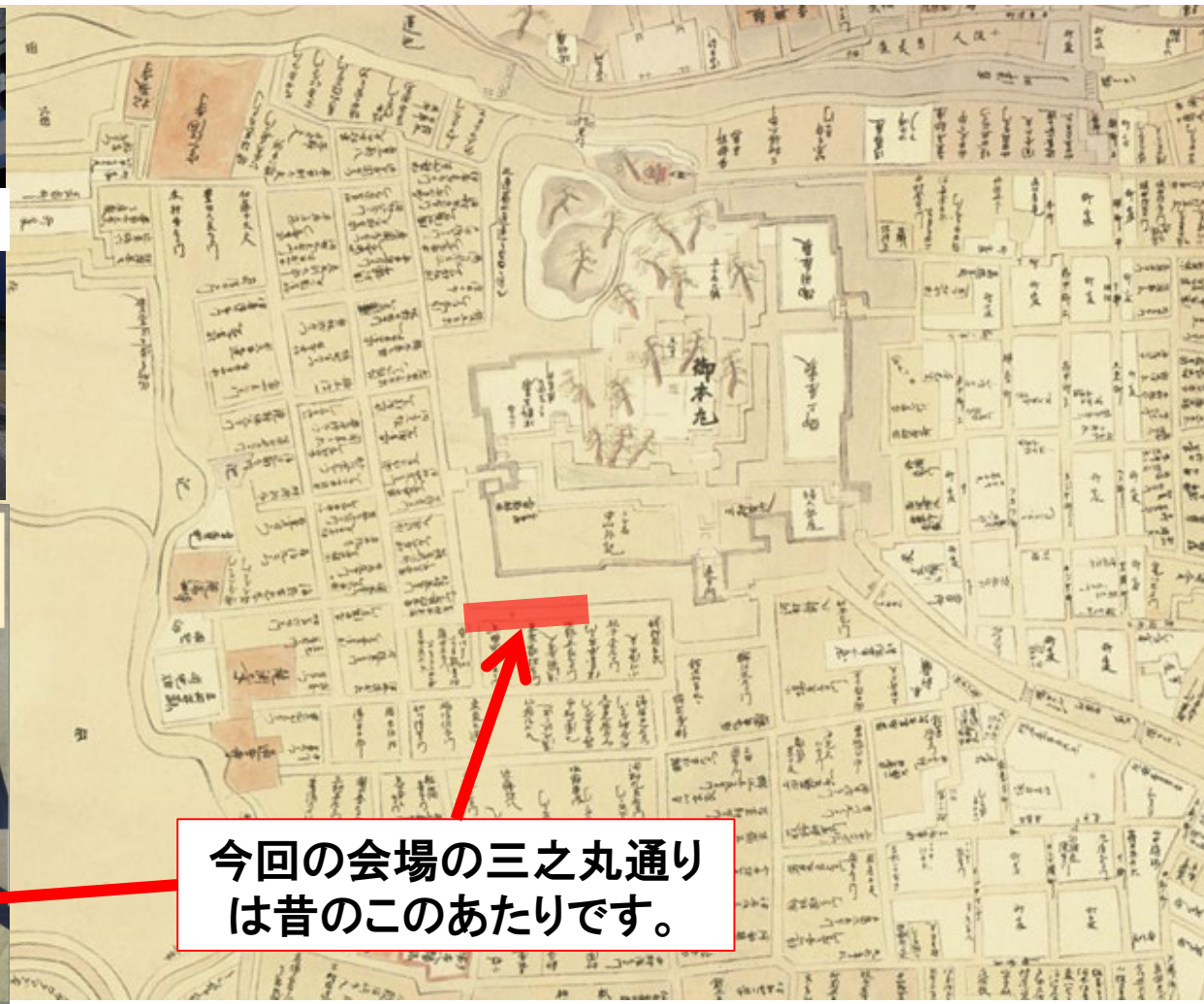


**今回 体験会場になるのは昔の「福山城南外堀の堀端」の道で現在の「三之丸通り」です。
実はこの道はこのまちができた時からあったのです。**





① 大石引き体験 午前の部 / 午後の部

お城の石垣やお堀をつくるとき大きな石が沢山必要でした。しかし、トラックもクレーンもない時代にどうやって運んだのでしょうか
何トンもある大石は一体何人で動くのか??? 当日のお楽しみ!

前回動かしたのが推定3.5トンで今回の大石は推定5トンです。
この大きな石を動かせる勇者を求む!



*** 当日体験参加者は動きやすい服装と靴で参加ください!**

② 大石割り実演 12:00頃～

約4トンの大石を石職人が割ります。

どうやって割るのか？どんな割れ方をするのか？見事割れるのか？

チャンスは一回、普段は見れない瞬間を見逃すな！

見るだけでなく、耳をすませて聞いてほしい、石の割れる瞬間の音！



どんな大石が来るのだろう、決まったら報告します！

③ 石割り体験 午前の部 / 午後の部

さあ、今度は君達の番だ。見事、硬い石を割ることができるか挑戦してくれ。コツは集中すること、呼吸を整えて、くの先に向けて狙いを定めて力いっぱいたたくのだ。きれいに割れると気持ちいい！！そうすれば君にも石の音が聞こえるだろう。健闘を祈る！



*** 当日体験参加者は軍手、手袋、小雨時用にカッパを用意ください。**

④ 大鋸(おが)実演 13:30 頃～

大鋸(おが)とは大きな「のこぎり」の事で、江戸時代より前から柱や板をつくるために使われていた。何でこんなに大きいのか？

なぜこんな形なのか？どのくらい重いのか？どうやって使うのか？
今は使われることのなくなった昔の道具「大鋸」について知ろう！



⑤ 鉋(まさかい)はつい実演 午前の部／午後の部

鉋とは丸太を製材(柱や板に加工すること)するときに使う道具です。
今では使う事もなく、使える人もわずかになってしまいました。
昔は一本の柱や、一枚の板さえ苦勞してつくられました。
お城や、まちづくりに使われる大量の柱や、板をつくることも大変な
作業だった事を知ってください。



⑥ チョウナはつゐ実演 13:30 頃～

チョウナとはまさかみや大鋸で柱や板に加工した後の表面を仕上げるの時に使う道具です。現代のきれいに仕上げた表面と違い、独特の波紋が雰囲気をかもし出します。まさに職人技です。



⑦ 鋸(のこ)引き体験 午前の部 / 午後の部

現在は家庭でも「のこぎり」を使う事も少なくなりました。
今回は「のこぎり」の使い方から上手な引き方などをお教えします。
切った木は記念に持って帰れます。



*** 当日体験参加者は軍手、手袋、小雨時用にカッパを用意ください。**

⑧ 鉋(かな)削り体験 午前の部 / 午後の部

鉋(かな)って何？ 何をするもの？ どうやって使うの？

さあ、かなを使ってみよう、うまく削れると楽しいよ！そして、かな削りは一番木の香いを楽し事ができます。においを嗅いでみて！



⑨ 土壁塗り実演・体験 午前の部 / 午後の部

昔の壁はこんなふうにと出来ていました。土壁塗りは見た目より難しい、でも出来るとすごくうれしい！ さあ君も挑戦してくれ！
コテの使い方がポイントだ、職人の技をよく見てまねしよう！



*** 当日体験参加者は汚れてもいい服装で参加ください。**

⑩ 木組み棟上げ体験 午前の部 / 午後の部

木組みとは釘などを使わずに木を上手に組み合わせ、家具や家をつくる事です。昔から伝わる日本の風土に適した技術です。
お城や、櫓のように大きなものにもこの技術は使われていました。
今回は実際にミニハウスを棟上げします。頑張ろう!!



*** 当日体験参加者は軍手、手袋、小雨時用にカッパを用意ください。**